

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

仮想空間（メタバース）を活用した不登校支援事業

事業の経過・背景・課題

城陽市においては、スクールカウンセラー等の支援員の配置により不登校児童生徒数はやや減少傾向にあるものの、クラスに入りづらい児童生徒の割合は依然として高い傾向にある。クラスに入りづらい児童生徒等については適応指導教室で受け入れているが、適応指導教室での対応は対面が原則となり、コミュニケーションに不安がある児童生徒にとってはハードルが高い場合がある。

取組内容

交付実績額： 330 千円

I C Tを活用し、不登校の児童生徒が安心して他者と交流できる居場所づくりを実施する。

- ・インターネット上の仮想空間（メタバース）に不登校児童生徒を受け入れる教室等を設置
- ・子どもたちが自分の分身のアバターで、フロア内で交流したり、ほかの子どもたちと会話を実施
- ・プライバシーが守られた状態で支援員に相談できる場所も設置

【実施スケジュール】

令和6年3～4月：仮想空間開設準備

令和6年4月8日：児童生徒受け入れ開始



事業の成果・今後の展望等

仮想空間を活用したオンライン上の居場所づくりは、自分にあったペースで学習・生活を送ることができるようになるなど、不登校児童生徒の学びの保障につながった。

今年度は、適応指導教室に通う児童生徒を対象に実施したが、今後は、効果を検証したうえで、学校に時間外登校していたり、適応指導教室に通うことも難しい子どもたちに展開し、コミュニケーションの機会を確保するとともに、学校以外の居場所として活用していく。

問い合わせ先

城陽市教育委員会学校教育課（0774-56-4004）